

災害時における課題と対策

災害時には、アスベスト含有建材を使用した建築物の倒壊・損壊時、解体時及び建材の廃棄時にアスベストが飛散するおそれがあるため、次の対策を推進する

- ①アスベスト使用建築物の把握及び台帳整備(公共建築物・民間建築物)
 - ・把握の対象は、建築物等の倒壊・損壊により露出した場合に飛散のおそれが高いレベル1建材を最優先とする。
 - ・調査により把握した情報をアスベスト台帳として整備し、データベース化して管理する。
- ②災害時の飛散・ばく露防止体制の整備
 - ・アスベストの露出状況を把握し応急措置を実施することが必要となることからアスベスト台帳を活用した飛散防止体制を構築する。
 - ・アスベストの大気中濃度等の測定体制を構築する。
 - ・平常時の準備から災害時における廃棄物処理までの役割分担を明確にし、具体的な対応策を策定する。

平成30年度

課題	対応
建築物等の把握	国交省通知に基づき不特定多数利用床面積300㎡以上の民間建築物の所有者に対して調査を継続して実施中
台帳整備	レベル1建材を対象としたアスベスト台帳を整備し、統合型GISへ反映
体制の整備	民間関係団体(堺市環境計量協議会)と災害時のアスベスト調査・分析に関する協定締結(8月31日) 建築物石綿含有建材調査者協会(ASA)に災害時のアスベスト建材調査に関する協定締結を打診中
対応職員のばく露防止	使い捨て防じんマスクの備蓄(1,200枚)

令和元年度

課題	対応
建築物等の把握	引き続き調査を行い対象建築物の把握を進める
台帳整備	不特定多数利用床面積300㎡以上の民間建築物にかかる調査結果を台帳等に反映する
体制の整備	民間関係団体と災害時のアスベスト建材調査に関する協定締結予定 災害時におけるアスベスト飛散防止対策について、平常時の準備から廃棄物処理までの具体的な役割や対応策を策定